

沖縄における電波の利活用による陸上交通の利便性向上 に関する調査研究の実施について

1 目的

ユビキタスネットワーク社会の発展に向け、携帯電話、ITS、電子タグ等の電波利用システムを用いた複合型アプリケーションの充実が重要と考えられる。

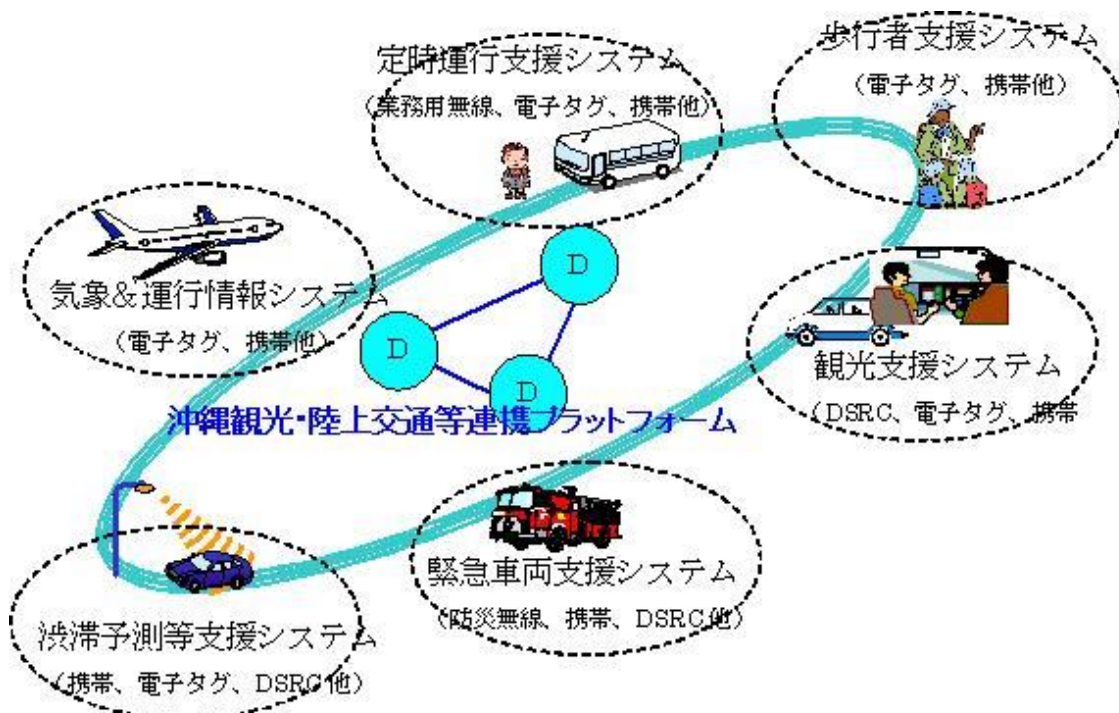
沖縄において陸上交通の利便性向上は、観光振興など社会経済活動の活性化のための重要課題の一つであり、沖縄の地域性に適した電波利用システムを用いたアプリケーションの抽出とその円滑な導入が望まれる。

このため、電波利用システムを用いた陸上交通の利便性向上方策について、学識経験者、地方公共団体、電気通信事業者、関係業界等のメンバーからなる調査研究会を開催し、ニーズ、シーズ両面から総合的に検討する。

2 検討対象

本調査研究での「陸上交通」は、車（バス、自家用、レンタカーなど）、モノレールだけではなく、人も含めた広い概念として捉えるとともに、観光、交通の円滑化、安心安全な社会を実現するための公共性を視野に入れて検討する。

検討対象分野のイメージ例



なお、実現に向けて実証実験が必要なアプリケーションについては、その実証実験に向けたシステムの検討も行うこととする。